



平成29年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年6月10日

上場会社名 株式会社 東京ドーム
コード番号 9681 URL <http://www.tokyo-dome.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長岡 勤
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 佐々木 浩平

TEL 03-3811-2111

四半期報告書提出予定日 平成28年6月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年1月期第1四半期の連結業績(平成28年2月1日～平成28年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第1四半期	19,419	3.1	2,204	△2.8	1,563	△15.9	1,475	—
28年1月期第1四半期	18,833	6.8	2,267	44.3	1,859	64.6	△10	—

(注) 包括利益 29年1月期第1四半期 2,167百万円 (△57.2%) 28年1月期第1四半期 5,059百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第1四半期	7.74	—
28年1月期第1四半期	△0.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第1四半期	309,854	87,333	28.2	458.18
28年1月期	302,715	86,312	28.5	452.82

(参考) 自己資本 29年1月期第1四半期 87,333百万円 28年1月期 86,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年1月期	—	—	—	—	—
29年1月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年4月27日開催の第106回定時株主総会にて、株式併合に関する議案が承認可決されたため、平成29年1月期(予想)の期末配当金を6円から12円に変更させていただいております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年1月期の連結業績予想(平成28年2月1日～平成29年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,100	△1.3	5,600	△12.0	4,800	△12.3	3,500	20.8	18.36
通期	82,300	△4.2	10,400	△18.3	8,900	△16.3	5,600	22.8	58.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成29年1月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注)詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年1月期1Q	191,714,840 株	28年1月期	191,714,840 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年1月期1Q	1,104,991 株	28年1月期	1,102,216 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年1月期1Q	190,610,891 株	28年1月期1Q	190,626,920 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、連結業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(株式併合後の配当及び業績予想)

当社は、平成28年4月27日開催の第106回定時株主総会において、株式併合に関する議案が承認可決されたため、平成28年8月1日を効力発生日といたしまして、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成29年1月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成29年1月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 6円

2. 平成29年1月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

通期 29円38銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、東京ドームのリニューアル工事に伴い、野球・コンサートイベントが前年同期比で減少しましたが、コンサートイベント関連商品の販売が好調だったことにより増収となりました。

以上の結果、売上高は194億1千9百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益は22億4百万円(前年同四半期比2.8%減)、経常利益は15億6千3百万円(前年同四半期比15.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億7千5百万円(前年同四半期比14億8千6百万円の増益)となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

<東京ドームシティ>

(東京ドーム)

東京ドームは、リニューアル工事に伴い野球・コンサートイベントの開催数が前年同期比で減少しましたが、コンサートイベント関連商品の販売が好調だったことにより増収となりました。

(東京ドームシティ アトラクションズ)

東京ドームシティ アトラクションズは、各アトラクションの好調により増収となりました。

(東京ドームホテル)

東京ドームホテルは、販売室数はわずかに減少しましたが、客室単価の増加により増収となりました。

(ラクーア)

ラクーアは、スパ入場者数の減少により減収となりました。

(黄色いビル)

黄色いビルは、堅調に推移しほぼ前年並となりました。

以上の結果、東京ドームシティ事業全体での売上高は142億8千9百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業利益(セグメント利益)は30億6千5百万円(前年同四半期比1.9%減)となりました。

<流通>

ショップインは、新店や既存店の好調により、増収となりましたが、労務費等の増加によりわずかに損失増となりました。

以上の結果、売上高は17億3千2百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業損失(セグメント損失)は前年同四半期比2百万円の損失増となり、2千6百万円となりました。

<不動産>

不動産事業全体として堅調に推移したことにより増収となりましたが、諸経費の増加によりわずかに減益となりました。

以上の結果、売上高は3億9千4百万円(前年同四半期比1.6%増)、営業利益(セグメント利益)は1億3千4百万円(前年同四半期比2.3%減)となりました。

<熱海>

熱海後樂園ホテルは、宿泊客数、単価共に好調に推移し増収となりました。

以上の結果、売上高は10億3千1百万円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益(セグメント利益)は6千2百万円(前年同四半期比175.4%増)となりました。

<札幌>

東京ドームホテル 札幌は、宿泊客数、客室単価共に好調に推移し増収となりました。

以上の結果、売上高は5億9千6百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業損失(セグメント損失)は5千9百万円(前年同四半期比2百万円の改善)となりました。

<競輪>

松戸競輪場は、本場開催日数の減少により減収となりました。

以上の結果、売上高は4億8千4百万円(前年同四半期比8.8%減)、営業損失(セグメント損失)は前年同四半期比1千3百万円の損失増となり、2千万円となりました。

<その他>

(株)東京ドームスポーツにおいて、指定管理者制度による運営受託の好調により増収となりました。

以上の結果、売上高は12億3千万円(前年同四半期比31.5%増)、営業利益(セグメント利益)は7千1百万円(前年同四半期比57.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、当連結会計年度に係る資金調達を前倒しで実施したことによる現金及び預金の増加により3,098億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億3千8百万円の増加となっております。

なお負債は、上記資金調達により2,225億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ61億1千7百万円の増加となっております。

また純資産は、税制改正に伴う再評価に係る繰延税金負債の取崩による土地再評価差額金の増加により873億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億2千1百万円の増加となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月期の業績につきましては、平成28年3月10日をもって、持分法適用関連会社でありましたTERREY HILLS GOLF AND COUNTRY CLUB HOLDINGS LTD. について保有株式及び同社に対する貸付債権の全てを譲渡したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして従来予想を上回る見込みとなりましたので、平成28年3月11日に公表した業績予想を修正しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,019	23,811
受取手形及び売掛金	3,294	3,798
有価証券	50	305
たな卸資産	1,290	1,548
繰延税金資産	1,507	1,535
その他	1,614	3,733
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	26,773	34,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	214,110	215,433
減価償却累計額	△128,774	△129,760
建物及び構築物(純額)	85,335	85,672
機械装置及び運搬具	13,584	12,724
減価償却累計額	△11,147	△10,438
機械装置及び運搬具(純額)	2,437	2,285
土地	143,677	143,677
建設仮勘定	858	410
その他	17,573	16,949
減価償却累計額	△13,977	△12,599
その他(純額)	3,596	4,350
有形固定資産合計	235,906	236,397
無形固定資産		
借地権	425	425
ソフトウェア	517	556
その他	147	146
無形固定資産合計	1,091	1,129
投資その他の資産		
投資有価証券	33,043	31,587
長期貸付金	542	114
繰延税金資産	1,039	1,396
その他	2,814	2,859
貸倒引当金	△138	△138
投資その他の資産合計	37,301	35,820
固定資産合計	274,299	273,347
繰延資産		
社債発行費	1,642	1,777
繰延資産合計	1,642	1,777
資産合計	302,715	309,854

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	718	1,668
1年内償還予定の社債	21,521	20,337
短期借入金	29,618	28,249
未払法人税等	437	146
賞与引当金	424	696
役員賞与引当金	28	8
ポイント引当金	215	222
商品券等引換引当金	4	4
その他	17,227	17,216
流動負債合計	70,195	68,550
固定負債		
社債	44,486	47,911
長期借入金	63,017	69,013
受入保証金	2,826	2,819
繰延税金負債	54	18
再評価に係る繰延税金負債	27,843	26,429
退職給付に係る負債	4,326	4,120
執行役員退職慰労引当金	124	121
固定資産除却等損失引当金	2,398	2,398
その他	1,129	1,135
固定負債合計	146,207	153,969
負債合計	216,403	222,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	777	777
利益剰余金	20,130	20,462
自己株式	△483	△484
株主資本合計	22,463	22,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,407	9,423
土地再評価差額金	53,871	55,286
為替換算調整勘定	△231	—
退職給付に係る調整累計額	△199	△169
その他の包括利益累計額合計	63,848	64,540
純資産合計	86,312	87,333
負債純資産合計	302,715	309,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)
売上高	18,833	19,419
売上原価	15,253	15,833
売上総利益	3,580	3,585
一般管理費	1,312	1,381
営業利益	2,267	2,204
営業外収益		
受取利息	15	7
受取配当金	86	75
為替差益	45	6
持分法による投資利益	46	—
その他	21	18
営業外収益合計	215	108
営業外費用		
支払利息	416	372
社債発行費償却	156	147
持分法による投資損失	—	2
その他	51	225
営業外費用合計	624	748
経常利益	1,859	1,563
特別利益		
投資有価証券売却益	17	—
事業譲渡益	—	265
工事負担金等受入額	16	—
補助金収入	1	4
債務免除益	9	—
その他	—	24
特別利益合計	45	293
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	37	46
解体撤去費	82	209
その他	0	2
特別損失合計	120	258
税金等調整前四半期純利益	1,784	1,598
法人税、住民税及び事業税	111	103
法人税等調整額	1,683	19
法人税等合計	1,795	122
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	1,475
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	1,475

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	1,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,242	△983
土地再評価差額金	2,882	1,414
退職給付に係る調整額	14	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△68	230
その他の包括利益合計	5,070	691
四半期包括利益	5,059	2,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,059	2,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年2月1日 至 平成27年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	13,688	1,710	387	1,007	588	531	17,914	919	18,833	—	18,833
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	264	—	1	0	0	—	266	16	282	△282	—
計	13,952	1,710	388	1,008	589	531	18,180	935	19,116	△282	18,833
セグメント利益 又は損失(△)	3,124	△23	137	22	△61	△6	3,192	45	3,237	△969	2,267

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△969百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△985百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	東京 ドーム シティ	流通	不動産	熱海	札幌	競輪	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	13,967	1,732	393	1,031	595	484	18,204	1,214	19,419	—	19,419
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	321	—	1	0	1	—	324	16	340	△340	—
計	14,289	1,732	394	1,031	596	484	18,529	1,230	19,760	△340	19,419
セグメント利益 又は損失(△)	3,065	△26	134	62	△59	△20	3,156	71	3,228	△1,023	2,204

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、(株)東京ドームスポーツの指定管理者制度による運営受託事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,023百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに分配していない全社費用△1,037百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用のうち、総務・人事・施設部門等の全社的一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。